



国際ロータリー第2600地区

上田六文銭ロータリークラブ

Rokumonsen Rotary Club



2015-16年度
国際ロータリー会長

K.R "ラビ" ラビンドラン

第2600地区ガバナー 望月 宗敬

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1 上田東急REIホテル3F

TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002

http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30

《例会場》上田東急REIホテル2F

《創 立》1997年2月18日

●会長 西澤 文登 ●幹事 横沢 正 ●会報委員長 松澤 一志 ●副委員長 中澤 信敏 ●委員 柄澤 堯/鹿志村 恭彦

例会日誌

司 会 山崎 勝司君
開会点鐘 西澤 文登君
ビジター
米山奨学生
長野大学 環境ツーリズム学科(4年)
ウン・ツー・ジュアン様
カウンセラー
蓼科ロータリークラブ
浦野 喜芳様
プログラム 『米山奨学生をお迎えして』
奨学生卓話 ウン・ツー・ジュアン様

ね。後ほどお話をさせていただきます。

マレーシアからの留学生は笠原一洋さんが上田東クラブ時代にお一人カウンセラーを務められたことがあります。帰国されてからもお付き合いがあり、結婚披露宴に招待されたお話を以前お聞きしました。素晴らしいことですね。

日本は島国のせいか近隣諸国との外交がまことに下手だと思います。お隣の中国や韓国との関係は一言で言って悪いですね。だからこそ民間の友好事業や文化活動が重要だと言えます。ロータリー財団の活動とか米山奨学会の活動は大きな意味を持っています。先般地区の米山セミナーに参加した時の報告をいたしました。米山奨学生だった留学生の皆さんがお国に帰られて日本との友好に力を尽くしておられる例が沢山あります。我々一人ひとりの寄付が大きな力となっているわけです。

会長挨拶

西澤 文登君

今月は米山月間ということで米山奨学生のウン・ツー・ジュアンさんをゲストとしてお招きしました。カウンセラーの蓼科ロータリークラブの浦野喜芳様にもご足労いただきました。ありがとうございます。ウンさんは長野大学 4 年生、環境ツーリズム学科で学んでおられます。お国はマレーシアだそうです。背がすらっと高く、いけ面ですよ。



幹事報告

横沢 正君

1. RI より
 - ・ R 財団月間 リソースのご案内
 - ・ R 財団専門家グループニュースレター
 - ・ 会長賞ウェビナー「ビデオとスライドのご案内」
2. 望月ガバナー事務所より
 - ・ ロータリー文庫 リンクと資料寄贈のお願い
3. 上田東 RC より
 - ・ 冊子「私の職業奉仕」送付のご案内
4. AMU より

クラブテーマ 「ロータリーの心」を実感し、クラブのアイデンティティを確立しよう!!



会 報

- ・うえだ多文化交流フェスタのお知らせ
- 5. ボーイスカウト日本連盟
 - ・スカウトジャンボリーへの寄付金御礼
とご報告
 - ・スカウティング誌 9月号
- 6. 労働保険事務組合より
 - ・労働保険事業主説明会のご案内
- 7. 上田保健所より
 - ・献血バスの運行予定表

恵送

1. 小さな親切運動様…冊子 秋号
2. 東御 RC 様…会報

全会員配布物

1. 当クラブ会報 第 864 号
2. 東信労働フォーラムパンフレット…長野県東信労政事務所様より**佐久会場**で開催される井出直行様の御講演に事業主の皆様には是非！ご拝聴願いたいとの事でございます。

その他

1. この後、理事会です。
2. 10月17日・18日は地区大会です。
3. 次週 10/20(火)は休会、**翌 21 日(水)は望月ガバナーをお迎えし、東クラブ様と合同例会です。**
4. ヴァイオリンコンサートのチケットの取りまとめ・販売を事務局で行っております

出席・ニコニコBOX報告

田中 栄一君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	23	5	—	78.26%
前々回	23	6	3	86.96%

蓼科 RC

浦野喜芳様 本日は上田六文銭 RC の会員の皆様にお会い出来て光栄です。本日の出会いを大切にします。

宮澤広一君 ウンさん、ようこそ。今日はよろしくお願いします。

杉山 裕君 米山、ウン・ツー・ジュアン様、蓼科 RC 浦野様、今日はよろしくお願いします。

第 865 回例会 2015 年 10 月 13 日



生川秀樹君 蓼科 RC の浦野さん、留学生のウンさん、ようこそ六文銭 RC へ。

山崎博太君 信州の紅葉前線、まっ盛り
中沢利樹男君 ラグビーワールドカップ
日本 3 勝！！これで上田の
ラグビー熱も高まればいい
ですね。

肥田野秀知君	飯島 俊勝君
柄澤 堯君	松澤 一志君
宮原 宏一君	水野 泰雄君
中澤 信敏君	西澤 文登君
田中 栄一君	山崎 勝司君
山崎 芳雄君	横沢 正君

※第 864 回例会 2015 年 10 月 6 日の出席・ニコニコBOXの報告に山崎芳雄様の氏名が遺漏しておりました。改めてお詫び申し上げます。

プログラム



『米山奨学生をお迎えして』

奨学生卓話 ウン・ツー・ジュアン様

自己紹介

氏 名	ウン・ツー・ジュアン (NG TZE CHUAN)
出身地	マレーシア
現住所	上田市
所 属	長野大学 環境ツーリズム学部 環境ツーリズム学科
世 話 クラブ	蓼科 RC

MALAYSIA (マレーシア)

人 口	約 2,946 万人 (2013 年推定値)
面 積	330,803 km ² (平方キロメートル)
首 都	クアラルンプール
主な言語	マレー語、英語、中国語、タミール語
主な宗教	イスラム教、仏教、ヒンドゥー教、キリスト教
通 貨	リンギット

多民族国家マレーシアの単純な人口比では、マレー系(約 65%)、中華系(約 24%)、インド系(約 8%) の順で多いです。林立す

クラブテーマ 「ロータリーの心」を実感し、クラブのアイデンティティーを確立しよう!!





る超高層ビルや歴史的建造物の対比が美しい首都クアラルンプール、世界遺産にも登録されたペナン島やマラッカなど、見どころが数多くあります。さらに、国土の 70 パーセントを占める豊かな熱帯雨林と、そこに生息するさまざまな動植物、砂の眩しいビーチリゾートなど、さまざまな見どころが魅力となっています。



マレーシアについて

マレーシア全体が赤道に近く、熱帯雨林気候に属しており、一年を通じて常夏の気候です。年間の日中平均気温は 27～33℃です。また、雨季になると一日中雨が降り続くことはありません。雨の後は気温が下がり、非常に過ごしやすくなります。日本はマレーシアと違って赤道と離れ、春、夏、秋、冬の季節があります。

季節の変化とともに、私たちの口癖が変わってきます。それは、夏になるとよく耳にする言葉は「暑い」ですが、冬になると「寒い」という言葉に変わります。日本に留学してから、このような口癖を言うようになりました。とても不思議だと思います。

ちなみに、マレーシアの人たちにこのような口癖はあまりしません、なぜかという、（今日は暑い、明日も暑い、あさっても暑いからです。）

私の出身地はマレーシアのペナン島です。ペナン島というところは、「東洋の真珠」と呼ばれて、インド洋に浮かぶ美しい島です。また、マレー系、中華系、インド系など様々な食文化が充実しています。そして、州都ジョージタウンは英国統治時代の面影を残すエキゾチックな世界遺産の街で英国統治時代らしく雰囲気を感じられます。さらに、ビーチエリア（バトゥ・フェリンギ）では中級

から高級リゾートが建ち並んでおり、昼は開放的なリゾート感で、夜は通りに立ち並ぶ屋台街を堪能できます。日本人観光客の姿も多く見受けられます。

また、政府主導によって長期滞在者の優遇措置がとられており、欧米諸国や日本などから、定年退職者が「第二の人生」あるいは「セカンドホーム」を楽しんだり、あるいは寒い場所から冬の間だけペナン島で過ごしたりなど、様々な目的で長期滞在しています。

もし、マレーシアへ遊びに行くなら、ぜひ私に案内させてください。

留学のきっかけ

私は日本に留学する前に、マレーシアで社会人として 5 年間働いていました。私は母との二人暮らしで、大学に進学するほどの金銭的な余裕はありませんでした。私の友人のほとんどは、高校卒業後に大学や専門学校に進学しましたが、私は母の経済的な負担を減らしたいと思い、進学せずにそのままマレーシアで就職活動を行って社会人の道へと進みました。

就職先は、観光客向けのチョコレート専門店でした。マレーシアには世界中の様々な国から観光客が訪れるため、接客では様々な言語を使う必要があります。私が勤務していた当時、店に訪れる客の大半は日本人だったのですが、日本語を話すことができるスタッフがいなかったため、会社側から日本語学校に通うように指示されました。

思いがけず再び学校生活を送ることになった私は、勉強すればするほど日本語に対して、そして日本という国そのものに強い興味を抱くようになりました。また、社会人時代に観光に訪れるたくさんの日本人を見ていた私は、これからのマレーシアの発展を考える上で、日本と良い関係を築くことが大事だと考えるようになりました。そして、日本語学校の先生のアドバイスを受けて、一旦会社を辞めて、日本へ留学することになりました。

大学で学んだこと

現在、私は長野大学環境ツーリズム学部で、水環境の保全と観光まちづくりの手法





について学んでいます。環境と観光の両方を学ぶことは、環境を守りながら地域社会が発展していくことに大きく貢献すると考えています

私は、大学一年生の時に、観光学の先生から「良い観光を行うためには、まずは環境を大切にする必要がある」との話を伺いました。また、国内外の有名観光地の多くでは環境保全に力を入れていることも知りました。つまり、観光資源として重要なその地域の環境を悪化させるような観光のあり方では、観光地として長続きしませんし、他の観光地との差別化も図ることができないというわけです。

これらの学習経験から、環境と観光は深くつながっていることがわかり、観光について理解を深める前に、まずは環境を保全する方法を知る必要があると考え、大学二年生の時から水環境学ゼミナールという環境系のゼミに所属することにしました。地域の環境を保全するためには、人々の環境に対する関心や理解を深める必要があります。そこで、ゼミの調査研究のテーマを、水族展示が持つ環境教育効果を明らかにすることとしました。そして、大学周辺の河川で採集した魚類や甲殻類の水槽展示を、長野大学や地域の道の駅などで実施し、水族展示を見た人の水環境に対する意識の変化などを調べました。

これらの研究活動から、実物の生き物を用いた環境教育は、人々の環境への関心を高めると共に、環境に対する理解を深めようという動機を作ることにつながることがわかりました。

また、より観光について理解を深めるために、大学三年生の時から、水環境学ゼミナールだけでなく、都市観光まちづくりゼミナールという観光系のゼミナールも履修しています。このゼミでは、国内で人気のある観光地のフィールドワークを行いながら、着地型旅行商品づくりや北陸新幹線開通に向けた観光・交通・景観まちづくりについて学んでいます。高度経済成長と異文化の侵入により、現在は地域固有の文化や景色や古い建物が破壊され、日本全国どこも同じようになりつつあります。

様々な観光地へのフィールドワークを通

じて、環境と観光は二択ではなく、共存すべきということがわかりました。

以上の学習活動を通じて、地域独自の自然環境や文化を守りつつ、地域固有の資源を活かした観光まちづくりの重要性が、これからの社会も必要とすると考えます。



感動したことは

私の生活の中で助けてもらった経験を述べたいと思います。二年前のある日、姨捨の夜景を見るため、電車で姨捨を遊びに行きました。帰る時になにか問題があって電車が止まりました。そして、ある女性は帰れなくなった私を見て上田駅まで送ってもらって、大変助かりました。人助けの行動は様々あり、いろいろな段階に分けられます。どのような関係がどんなことをするのか、人によってそれぞれあると思いますが、多くの人にとって、知らない人に車を乗せてあげる行動はあまりしないと思います。(やはり、怖いでしょう) 知っている人でもないのに、送ってあげるわけがないから。しかし、その女性は困っている私を見て、助けていただきました。とても感動しました。

学生時代に最も打ち込んだことは

学生時代に最も頑張ったことは日本語の勉強だと思います。日本に留学する前に明るい性格とよく言われました。しかし、日本語があまり通じなくて、自分が思ったことを相手に伝えられなかったことが原因で、だんだん暗い性格に変わってしまいました。自分自身が納得できなくて、なぜこのようなことになってしまったんだろうと思って、日本語の勉強を努力し始めました。その結果、日本語能力が少し上達になって、言いたいことも相手に伝わるようになりました。このことがきっかけで、努力すればできると改めて思いました。





臨時総会報告

平成 27 年 10 月 13 日例会時において臨時総会を開催しました。

議案 入会金を 50,000 円に改定する件

議長：西澤会長

1. 議案説明（西澤会長）

松澤さんが会長を務められた時に一度この件が提案されたことがあります。私はその時反対の立場をとりました。今になって考えれば「わからずや」と取られるような発言をしました。当事者の皆様にはさぞご不快なことだったと思います。お詫びを申し上げます。

そもそも入会金というものは入会される方の保証金のようなものです。ゼロでもいいようなものですが、ゼロでは 10 万円で入会された人との公平性が甚だしすぎます。

周囲のクラブの状況ですが、上田クラブが先般 5 万円に改定、続いて上田西クラブが同様の改定をしました。丸子クラブは以前より 3 万円です。

ここに上田六文銭ロータリークラブの入会金を 5 万円に改定することを提案いたします。

2. 質疑を求める。…意見無し

3. 満場の拍手で可決しました。

会長エレクト選考委員会の経過報告

臨時総会終了後西澤会長より会長エレクト選考委員会の経過が報告されました。

複数の会員から意見を聞き鋭意選考に努めましたが、エレクト選出の前にクラブの在り方についてもっと沢山の意見を聴取すべきだということになりました。特に年代別など小グループに分けて意見を出し合う

場が欲しいという要望が会長未経験者の皆さんからありました。私も日程に追われてつい先走ってしまったくらいがあります。大切な点をおろそかにしていたと反省しております。早速今日の理事会に例会プログラムの変更を求めたいと思います。

10 月理事会報告

今後の例会プログラム変更

1. 10 月 27 日、11 月 10 日、17 日、24 日のプログラムをクラブフォーラムにする。
2. 11 月 17 日は夜間例会としフォーラム終了後懇親会を行う。
3. 10 月 27 日は上田東クラブからの移籍組、会長経験者で移籍組でない人、会長未経験者の 3 グループに分け意見を出し合う。
4. 移籍組の座長を北村久文君、会長経験者で非移籍組の座長を横沢正君、会長未経験者組の座長を生川秀樹君がそれぞれ務める。
5. 座長の 3 人は 10 月 27 日例会終了後ミーティングを行い今後の進め方を協議する。
6. 会長エレクト選考は例年の日程にはとられず、フォーラムの成り行きを見てから行う。

地区大会報告



平成 27 年 10 月 18 日
まつもと市民芸術館にて
ホスト 松本南 RC

AM 本会議

PM ロータリーデー開催

記念講演「日の本一の兵・真田幸村」





真田三代豆知識

信玄・幸隆の死と長篠の戦い

西澤 文登

武田信玄は生島足島神社に家臣からの起請文を奉納しました。この後幽閉していた嫡子義信を切腹に追い込み駿河の今川との縁を断ちます。そして永禄 11 年（1568）、駿河、三河、遠江への侵攻が始まります。繰り返し進入し次第に領土を拡大するという信濃で見せた信玄得意の戦法です。

元亀 3 年（1572）10 月 3 日、信玄は大軍を率いて甲府を発ち遠江に向かいました。その数 2 万 5 千と言われています。12 月 22 日、三方が原（みかたがはら）の戦いがありました。徳川家康軍との戦いです。この戦いは数に勝る武田軍の圧勝でした。戦国一と称された武田軍団の強さを見せつけた戦いと言われています。コテンパンに打ちのめされた家康はほうほうの体で浜松の城に逃げ帰りました。家康はこの時苦渋に満ちた自分の肖像画を絵師に描かせ、後の戒めにしたということです。天下を取るような人はやるのが違います。武田軍は浜松まで追撃しましたが深追いせず刑部（おさかべ）という所で越年します。



信玄はこの時病気だったのです。一説には胃がんだったのではないかとされています。翌天正元年（1573）2 月、刑部の近くの城を攻略する頃から病状が悪化、療養に努めましたが一向に回復せず、3 月 9 日とうとう甲府に引き返すことになりました。その時には馬にも乗れず輿に乘せられての帰路だったようです。しかし甲府への帰還はかなわず途中駒場（こまば 下伊那郡阿智村駒場）で逝去となりました。天正元年 4 月 12 日、享年 53 歳でした。戦国の英傑武田信玄も病気には勝てませんでした。信玄を主君と仰いだ真田幸隆も後を追うように翌天正 2 年 5 月 19 日に吾妻の地で亡くなっています。享年 62 歳といわれています。

真田家の家督は幸隆死去の数年前に嫡子源太左衛門信綱（げんたざえもののぶつな）に譲られていたようです。信綱は信玄からも武田の有力武将として認められていました。信玄亡き後の武田を取り巻く状況は厳しいものでしたが、上州吾妻の地は信綱等の働きで変わらず維持できていました。

信玄の後を継いだ武田勝頼は天正 2 年遠江の高天神城（たかてんじんじょう）を攻略、翌天正 3 年（1575）4 月、1 万 5 千の勝頼軍は三河に侵攻、長篠城に向かいます。長篠城は以前武田の手中にありましたが信玄死後の混乱期に徳川家康に奪還されていました。一方徳川家康は織田信長と手を組み武田軍を迎え撃ちました。織田・徳川連合軍は長篠城の西、設楽原（したらがはら）に馬防柵、土塁、空堀を設け一説に 3 千挺ともいわれる強力な鉄砲隊を布陣します。武田軍は戦国最強の騎馬・足軽隊を持っていましたが織田・徳川軍のこの作戦に見事なまり壊滅的打撃を被るのです。武田勝頼はここで多くの有力家臣を失いました。吾妻から駆け付け武田軍に加わっていた真田信綱と弟の兵部昌輝（ひょうぶまさてる）もあえなく戦死。真田家の長男次男がはかなく戦陣の露と消えてしまったのです。この時信綱の家臣・白河勘解由（しらかわかげゆ）兄弟が主の首を敵に渡してなるものかと陣羽織に包み鎧の胴に入れ長篠から真田まで運び信綱寺に葬ったという話は有名です。白河兄弟は首塚の前で切腹して果てたといわれています。その時の陣羽織と鎧の胴は信綱寺の寺宝として伝わっています。真田家の家督は武藤家に入っていた三男昌幸が継ぐことになります。

